



藤井寺市観光ボランティアの会

# 美陵ガイドクラブ会報

〒583-8583 藤井寺市岡1-1-1(藤井寺市役所 6階 藤井寺市観光協会内)

TEL:072-939-1086 FAX:072-936-9777

URL:[http://www.fujiidera-kanko.info/volunteer/volunteer\\_top.html](http://www.fujiidera-kanko.info/volunteer/volunteer_top.html)

第 7号 2011年 6月

## 平成 23 年度にむけて

藤井寺市観光ボランティアの会 会長 小野常芳

この度、第 4 代会長に選ばれました小野でございます。よろしくおねがいします。

私の活動方針は「共に楽しく！」を合言葉として、秩序あるハートフルな活動を行うことです。具体的には市民運動として「古市古墳群の世界遺産登録推進」を常に意識した活動を行うと共に、各種の行事に参加することで、会員各自の自己発露の場とすることです。更に過去6年間の経験を踏まえ“観光ガイドによる地域起こし”という当会活動の原点に立ち、地元の各年代層の人々との交流を通じ、より多くの観光客の誘致を図り、リピーターを呼び込めるような楽しい誘導ガイドの育成に努めたいと思います。

お陰さまで観光協会をはじめ、文化財保護課や経済観光課等多くの諸団体よりご支援を頂き感謝申し上げますと共に、郷土の古代よりの文化財をガイド出来る喜びを感じながら、意義ある観光ボランティア活動を展開したいと思います。

## 平成 23 年度の活動について

新会長より就任時、「共に楽しく！」を合言葉としたい旨の話がありました。

当会の活動内容は観光ガイドに留まらず、各種イベントへの参加や学校教育への協力など多岐にわたっていますが、多彩な能力と経験を持つ会員の意思疎通を更に深め、共に楽しく参画できれば成果は自ずと得られるものと考えます。今年度の活動方針はこれまでのものと大きく変わるものではありませんが、特に古市古墳群の世界遺産登録推進に関しては、よりいっそう意識した活動を展開することで市民として支援していきたい。

これらを「共に楽しく！」行うことで、充実した“時を楽しむ”ことができると思います。 (事務局 岩崎)

## より魅力的なホームページを目指して

藤井寺市観光協会のホームページに、当会のホームページが開設されてから1年がたちました。市の観光協会のご協力を得て、誌面の充実を進めてきました。おかげさまで、ホームページを見て、問い合わせやガイドの申し込みも増えています。今年度は、ページデザインのリニューアルのほか、古市古墳群に関するフレームの設置、観光マップの充実など、より魅力的なホームページづくりを行う予定です。(鈴木)



## 東日本の震災に義援金を寄付しました。

東日本大震災で亡くなられた方に心よりご冥福をお祈り申し上げます。また、被害に遭われた方の皆様の復旧・復興にご支援、声援をお送り申し上げます。僅かばかりですが、当会の会費会計から、藤井寺市社会福祉協議会を通じ、日本赤十字社に義援金を寄付させていただきました。(会長 小野)

## 道明寺天満宮・梅まつり (2月11日～28日)



当会では、道明寺天満宮の「梅まつり」の期間中、境内にガイドブースを設け、天満宮縁起ガイドちらし、古市古墳群マップなどを配布して、また古墳写真パネルも掲出して、天満宮由緒やゆかりの地、世界遺産登録を目指す古市古墳群の紹介などのミニガイドを行いました。

当初は大雪に見舞われ、どうなることかと心配しましたが、あとは好天気続きで、梅も開花し、大勢の参拝客、観梅客でにぎわいました。

ブースでは今年もご参拝の方に「梅」を題材にした俳句を詠んでいただく「奉納俳句」を催したところ、昨年に倍する181人の方から403句の投句をいただきました。締め切り後、宮司さん、禰宜さん、俳誌同人の当会会員が中心となって、一般の部「梅賞」「松賞」「竹賞」の優秀作3点、他10点の佳作を選考し、さらに今年は小学生の部として3点を選び、梅花祭当日から境内に掲出しました。今後も道明寺天満宮梅まつりの恒例行事として定着させたいと思います。

(樽野)



## 春季ウォーク 「観梅・古墳・酒蔵めぐり」 3月6日 (日)

上々の天気のもと、道明寺天満宮に続々と人が集まってくる。参加者は予想外に多く、嬉しい誤算。急遽、予定を繰り上げてガイドを先頭に次々と出発する。梅祭の最中の道真公ゆかりの天満宮をあとに道明寺尼寺へ。掃除が行き届き、静かなたたずまいの境内で、定点ガイドの説明を聞く。さんしゅゆの黄の花明りの堂の中に、国宝の観音様がいらっしゃる。紅白の枝垂れ梅の赤は半ば散り、白は盛り。誉田八幡宮では境内の右手、反り橋の奥の門の前まで入り、応神天皇陵を仰ぎ見る。安閑天皇陵から日本武尊陵へ。白鳥伝説や羽曳野の由来を聞く。昼食は峰が塚公園。午後からは仁賢天皇陵を横切り、藤井寺の歴史の宝庫シユラホールへ。さて、いよいよお目当ての藤本酒蔵へたどり着くと甘酒・利き酒での歓迎。原酒はまさに丹波杜氏さんの絞りたて。疲れも忘れて味わう。家の土産にと酒粕、粕漬け、地酒や地元の名産物を買う人も。最終の葛井寺に差し掛かると春雨が。



ウォーク日和午後の遅くに春の雨 克夫

(桃井)

## あい♡うおーく 2011



3月21日(月・祝日)に藤井寺ライオンズクラブと市青少年指導員の協力、市教育委員会の後援で開催されました。内容は、小学生の1年生から6年生までと、低学年のご家族を対象に校区内のウォーキングと宝探し、さらに焼き芋パーティーを組み合わせた楽しい催しで、今回は道明寺南小学校が対象で行われました。

当会へは市の生涯学習課から天満宮、道明寺、仲姫皇后陵古墳の3か所で「子供にわかるような説明をしてほしい」と依頼があり、8人が参加しました。

当日は小雨模様のスタートとなり、15班に分かれて次々と来る子供さんに、うまく説明できるかどうか心配でしたが、青少年指導員の統卒が行き届き、各班とも纏りが良くてスムーズに説明ができました。

子供さん達は、それぞれ「お宝」を貰い、暖かい焼き芋を頼張って楽しさを満喫しました。我々の方も初めて顔をあわせる他団体との交流、懇親が和やかに進み良かったと思っています。

(中西 明)



道明寺天満宮で説明

## 葛井寺・藤まつりでのミニガイド (4月19日～5月8日)

今年も4月18日のご本尊ご開帳日の翌日から、葛井寺さんの境内で恒例の藤まつりがおこなわれた。今年は天候が不順で、藤も戸惑っているのか、初日から大雨で、花が開くのも遅かったように思う。

当会では、「藤まつり期間中、境内でテントブースを設けさせてもらって、ミニ観光ガイドをやったら」という案がでた。「物事の正否は準備八割」と言われるが、打ち合わせや資料準備もそこそこに、とりあえず境内にテントブースを設けさせてもらってスタートしたところ、20日間の期間中、用意したガイド資料2種は合わせて2,000部を超え、テントブースを訪れた参拝客は1,000人を数えるなど、お寺のご住職を初め関係者の方々、藤育成会の会長さん、そして会員の皆さんの暖かい理解と協力を得て、盛況裡に終えることができた。

西国三十三所巡拝の方や、カメラ片手の藤ファンの方と触れ合うことができ、又お寺の由来や「葛」と「藤」の違いの説明など、有意義なガイド活動ができた。(荻野)



### 小山善光寺の御開帳

この寺のご本尊、一光三尊仏は秘仏で毎年4月24日に御開帳される。午後4時から散華読経へと進みご本尊の縁起書を唱えられると、厨子が開かれ尊像を真正面で拝むことができる。この縁起書によると、【推古朝の御代、本田善光が小山の庵で泊まった折り、浪速の堀江の池で結縁された立派な仏像を隆聖法師と共に3日3晩念仏修行をすると左右二体に分かれた。法師はこの尊像の一つをご本尊として堂を建てた。最古の善光寺と言われる由縁。一体は善光が国へ持ち帰り建てたのが長野善光寺】とされている。小振りの仏様だが縁起を思うと感慨深い。(近藤)



### 道明寺天満宮のとんど焼き

まだ真っ暗な1月15日の早朝に道明寺天満宮の左義長(とんど焼き)へ初めて行ってきました。最初に拝殿で祝詞奏上などの祭儀が斎行されました。その後、注連縄や竹などをたくさん積み上げられた所に、宮司さんが藁縄に移した御神火を消えないようにクルクル回しながら持ってこられ点火。瞬く間に燃え上がり、天にも届きそうな高い火柱に驚きました。無病息災を祈り、皆さんと一緒にしっかり暖まりました。そして小豆粥と梅干などいただきました。とてもおいしかったです。



(メルツ)

2月27日(日)「華やいで南河内」ウォークでの藤本酒蔵及び3月26・27日(土・日)近つ飛鳥博物館で甘酒の振る舞いや、地産品の販売のお手伝いをしました。中でも観ボラ女性会員の呼び込み、売り込み作戦は見事なもので閉店前に早くも完売。近つ飛鳥では、まなり君や羽曳野市のタケル君などの着ぐるみにも挑戦するなど、訪れる方を楽しませる役も果たしましたよ。

(広報部)

## イベント お手伝い



藤本酒蔵 販売手伝い



太子君・タケル君・真成君

## 「第3回 四季の古墳」写真展を開催して

四季の古墳展が市役所ロビーにおいて3月7日～18日の2週間開催されました。今回で3年目。回を重ねるごとに市民の方や、他市からも多くの方に来ていただけるようになりました。

昨年「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産暫定リストに登録されたことを記念して、今回は古市古墳群の写真だけではなく、百舌鳥古墳群の写真も掲載したのが好評でした。来訪者は昨年を上回る300名を超え、アンケートにもご協力くださいました。

(増元)

### 《アンケートの結果 主な意見・感想》

- ・ こんなに古墳があるとは知らなかった。古墳の四季の美しさに感動しました。
- ・ これからも展示してほしいです。古墳に様々な形があるのだなあ……新発見です。
- ・ 是非世界遺産になるよう心からお祈りします。頑張ってください。
- ・ 興味深く見ました。大切にしていかなばと思いました。
- ・ 世界遺産は難しいことだが、他国にない遺産なので是非登録してもらいたい。
- ・ 羽曳野市と協力して、市民に役立ついろいろなことを計画してください。
- ・ はざみ山古墳の雪景色がきれいでした。結構藤井寺にもあるのですね。今度巡ってみます。

## 百舌鳥・古市古墳群世界遺産登録に向けて(7)

### 峯ヶ塚古墳

墳丘長96m、総延長148m とやや小ぶりだが、2重の環濠に囲まれた2段築成の古墳で、後円部径56m・高さ9m に対して前方部辺74.4m・高さ10.5m と前方部が凌駕し、古市古墳群の中では典型的な後期型の特徴を有し、築造時期は5世紀末と推定される。盗掘にあったためやや不確かなるも、石槨は竪穴式と考えられる。

出土品としては、銀製三叉垂飾り・各種玉類、鹿角製飾付太刀・金銅製冠帽・花形飾り・馬具・鉄鏃・青銅製鈴・

魚佩・帯金具・垂飾り付耳飾り・盛矢具・小札・鋏・工具・施錠具・盾中心飾り鉄板・朱・歯・阿蘇凝灰岩製割抜き式舟形石棺(破片)など多数を数え、これら豪華な副葬品から被葬者としては王族に属するなど高貴な人物が彷彿される。また副葬品は、大陸の影響を受けつつ、倭風の様式も守っており被葬者の自負の念が偲ばれる。

峯ヶ塚古墳



(写真提供 : 羽曳野市教育委員会 )

(寺田)